

=私たちの活動 4つの柱=
 *制度化と指導員の身分保障
 *専門性と仕事の確立
 *父母と共に学童保育運動の発展
 *全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2018. 1. 15.
 NO. 21
 全日本建設交運一般労働組合
 全国学童保育部会 発行
 編集：事務局

南魚沼市、3年生でも待機児童

保護者、子どもにも不安広がる

運営施設について

南魚沼市には、NPO法人「すまいるネット南魚沼」で十四クラブ、社会福祉法人で四施設、医療法人で一施設の学童保育を運営しています。

各法人は独立した施設を保有しています。しかし、「すまいる

ネット南魚沼」は市より委託され学童保育は、学校の体育館の一部を利用したものや、学校の空き教室を利用した施設が半数を占め、保

育施設並びに保育設備を十分に確保できていない状態とはいえません。したがって学童保育

を必要としている児童すべてが入所できる状態にはあるといえませんが、

利用希望の実態について

南魚沼市は、財政的に厳しい面があり施設の拡充に至らないのが現状です。

南魚沼市では入所希望数に対し施設・整備の不十分さから、小学4年生以上は待機を余儀なくされているのが現状です。

指導員の待遇

は利用出来なくなるのでは」といった、不安の声や「来年は3年生になるので、もう入れないでしょう」といった声もありました。

各法人や事業所により処遇にはバラつきがあるのが現状です。市内で比較しても賞与・退職金のない事業所もあります。

実際「この仕事は好きだし、やりがいも感じるが、この給与では生活が出来ないから退職せざるを得ない」という声もあります。

安心して長く働き続けられると指導員の定着面も考え、労働条件の向上を切に願います。

(南魚沼分会

松井理恵)

来年度、予算案「処遇改善事業」など若干の引上げ

12月に、来年度の予算案が発表されました。

発表によると、閣議決定された「新しい経済政策パッケージ」を踏まえ、約30万人の新たな受け皿の確保を1年前倒しの2018年度末までに実施する、となっています。そうした関係から施設整備費の補助率かさ上げは継続、増額されています。

また、運営費の関係では「児童の数」に応じた補助基準額をはじめ、他の多くの項目の増額はありませんが、「処遇改善事業費」は若干の引き上げとなっています。

その内容は以下の通りです。

放課後児童支援員等処遇改善等事業

- 非常勤1名分の賃金改善分
1,541千円⇒1,574千円
- 常勤配置のための追加費用
2,904千円⇒3,012千円

キャリアアップ処遇改善事業

- 放課後児童支援員 124千円⇒125千円
- 経験5年以上 248千円⇒251千円
- 経験10年以上 372千円⇒377千円

クラブによつては小学3年生でさえ待機児童になる傾向にあります。入所案内もいかに規制を作り、希望数を減らすかというような内容になっており、案内書を手にした保護者から「この内容だと来年